

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652「GX(グリーントランスフォーメーション)リーグ」への
参画について

京都銀行(頭取 土井 伸宏)は、2023年度から本格稼働する経済産業省「GX(グリーントランスフォーメーション)リーグ[※]」への参画を決定しましたのでお知らせいたします。

脱炭素への動きはグローバルに加速しており、地域金融機関には、気候変動に対する具体的な取り組みと情報の開示が求められるとともに、お客さまの課題に応じた脱炭素への取り組み支援などが期待されています。

当行では、「サステナビリティ経営方針」のもと、自らの2050年度までのカーボンニュートラル達成を目指す中で、2030年度までの目標として、事業活動におけるCO₂排出量(Scope 1・2)の「2013年度対比50%削減」と、サステナブルファイナンス(投融資)の「1兆円実行」を掲げて取り組んでいるほか、脱炭素に関連するお客さまの経営支援サービスを拡充・提供しております。こうしたサステナビリティ経営を実践する当行の経営姿勢と、GXリーグの考え方が合致することから、今般本リーグへの参画に至ったものです。

当行では、今後も事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、長期持続的な企業価値の向上を図るとともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※GX(グリーントランスフォーメーション)に積極的に取り組む「企業群」が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーとともに、一体として経済社会システム全体の改革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場。

<ご参考>GXリーグ設立準備公式WEBサイト:<https://gx-league.go.jp/>



サステナビリティ経営方針

京都銀行グループは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引しともに未来を創造する～」との経営理念のもと、地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組むことにより長期持続的な企業価値向上に努め、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

